

■プログラム名

「アジア平和＝人間の安全保障大学連合」を通じた次世代高品位政策リーダーの育成

■現状及び展望

本プログラムにおいて事業初年度から 2013 年度にかけて重点的に行ってきたことは以下のとおり。

- (1) 学生の派遣・受入（短期・ Semester）プログラム活動の充実（体制づくりと運営）
- (2) 国内 4 校並びに東南アジア 6 校の連携大学との関係強化・信頼醸成
- (3) 東南アジアの学生の出口戦略としての日本企業と ASEAN の学生間のキャリアフェアの企画・開催（2013 年 6 月シンガポール開催）
- (4) 国内連携大学の学生に対して、平和構築や人間の安全保障についての関心と理解を深めてもらうための講義やプログラムを積極的に開催・設置
- (5) 受入学生のケア（学習、研究、生活関連）及び派遣学生のケア

来年度は、連携大学による共同カリキュラムの開発に向けた作業や共同講義の実施に本格的に着手する。その布石として、2014 年度に大阪大学、広島大学、チェンマイ大学の 3 大学の間でテレビ会議システムを利用した共同講義を開始する。

■問題点及び制度上の改正希望

- 1) 学生派遣・受入れ事業に充てられる予算の割合の上限についての撤廃を要望。毎年度予算が削減されるなか、事業を安定的に運営するためには計上できる予算が毎年度圧縮されることを避けたいので、上限の撤廃を検討できないか。
- 2) 日本の単位制度、学期制度について相当に柔軟にしないと、東南アジアの大学との連携は難しいので、柔軟性を求めたい。
- 3) 今後、授業料徴収を視野にいれた交流を考えているが、その場合でも、授業料の設定を柔軟にできるよう、制度の改革が必要だと思う。

■学生交流数

| 交流方向 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度(※) |
|------|----------|----------|-------------|
| 受入 | 10 | 22 | 24 |
| 派遣 | 16 (6) | 29 (20) | 21 (17) |

(内、日本人学生数) (※) 予定含む